



デジタルアーキテクチャ・デザインセンター (DADC) は、
Society5.0 を実現するためのアーキテクチャを
デザインするセンターとして新設されました。

Society5.0 とは

Society5.0 というビジョンで目指す社会において、一定の自由と秩序をもって様々な人や企業が活動し、社会を発展させていくには、**サービス群**がそれぞれの**個別最適**な形で構築され、**社会に広く別々に提供**されていく状況を回避することが必須です。

つまり、**Society5.0 の社会の実現**には、基本的なコンセプト/構想をもとに、「**見取り図**」としての**アーキテクチャをデザイン**し、**ルールを定めて、ガバナンスの仕組みと仕掛けを組み込む**ことが、不可欠です。



まとめると…
サイバー空間(バーチャル)とフィジカル空間(現実世界)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

もっと詳しく！産業アーキテクチャの解説動画



産業アーキテクチャとは？ (Youtube 動画)



なぜ今産業アーキテクチャが必要？ (Youtube 動画)

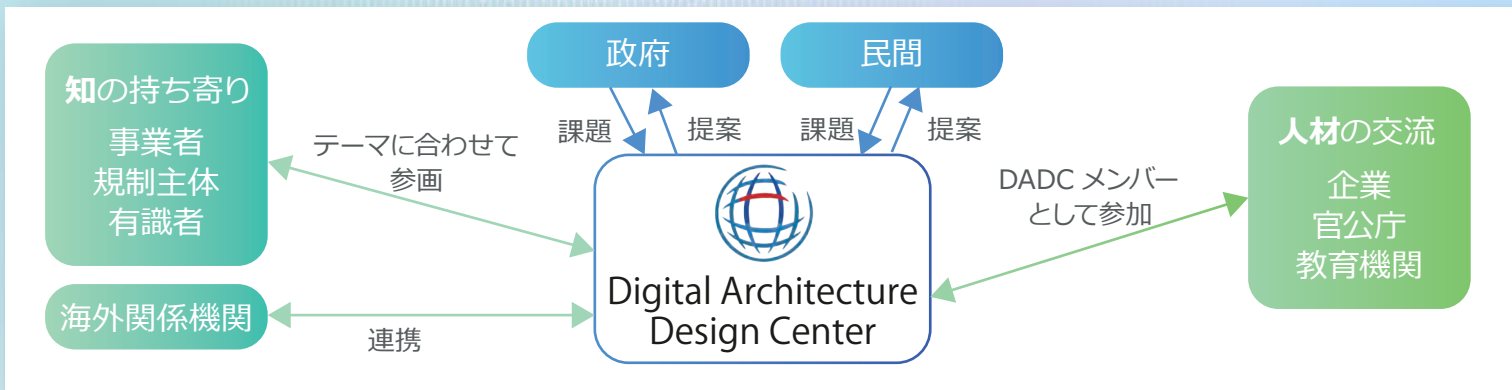
DADC は
具体的に
どんな事を
やってる？

一緒に Society5.0 を
実現したいけど、
どうすれば良い？

裏面へ！

なぜデジタルアーキテクチャ・デザインセンターなの？

アーキテクチャをデザインしビジョンを実現するためには、産業界や行政等、多数の関係者の意見を集約する中立的な場が必要です。そこで、多様な産学官の総合知を結集する、透明性を持った中立的な場として DADC を新設しました。



現在進めている取り組み

DADC が考える Society5.0 実現には、「縦の連携」「横の連携」「連携を実現するガバナンス」の3つのポイントが必要と考えています。

- ・ 縦の連携：サイバーとフィジカルが信頼性を持って安全で効率的に繋がるためのレイヤー構造をイメージ
- ・ 横の連携：各企業が独立して開発し、分散して存在するサービスが相互に繋がるモジュール構造をイメージ
- ・ 連携を実現するガバナンス：縦横の連携を適切に運用するためのルールや制度、仕掛けと仕組みをイメージ

そして、今年度は3つのワーキンググループが動き出しました。

01

スマート安全

まずは**プラント保安**を例に、繋がるシステムの安心安全や、日本の強みを活かすガバナンスを検討

02

自律移動ロボット

まずは**ドローン**を例に、自律移動ロボットが適切に活用できるインフラを検討

03

住民起点 MaaS

地域の移動を例に、持続可能なサービス実現に向けてこれまでの業・プラットフォームに捕らわれない仕組みを検討

オフィシャルサイト・各種 SNS

公式サイト



ipa.go.jp/dadc/

公式 facebook



[@ipa.dadc](https://www.facebook.com/ipa.dadc)

公式 Twitter



[@ipa_dadc](https://twitter.com/ipa_dadc)

インターンシップ生を 随時募集中！

詳細はお問い合わせください
dadc-info@ipa.go.jp